

景 観 形 成 の 考 え 方

横 浜 ス タ ジ ア ム の 夜 間 照 明 計 画 に つ い て

令和7年1月17日

横浜スタジアム

目次

目的・目指す姿	01
照明計画（全体）	02
照明計画（日本大通りからの見え方・手摺照明）	03

■ 主な目的

- ・ 夜間の歩行者の安心、安全な動線確保
- ・ 地域、街への賑わい、回遊性の向上
- ・ 横浜公園、横浜スタジアムの価値向上

■ 目指す姿

2020年2月末に竣工した「横浜スタジアム増築・改修工事」の計画に対する平成29年3月27日に開催された都市美対策審議会で説明した資料において『夜間景観』の景観特性、夜間照明の考え方を踏襲し、本件計画としても、『全体を明るくせず、人のいる場所に落ち着いた照明計画、また光量を抑えることで横浜公園の歴史ある夜間景観を阻害しない照明計画』を進めて参ります。

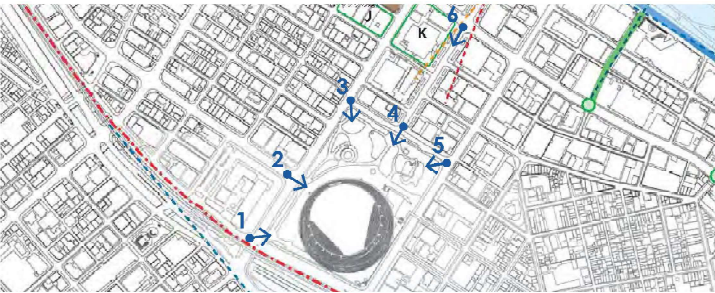
今後、横浜スタジアムには2026年の旧市庁舎街区の開業に合わせ、関内関外地区の環境が変化する中、周辺地域への回遊性の向上、地域の賑わいが創出が求められると考えております。

そのため、夜間の安心・安全な歩行者動線を確保するとともに、夜間景観ガイドラインを遵守した、横浜スタジアムの夜間照明を計画します。

なお、横浜公園、横浜スタジアムの価値向上や賑わい創出に資する取組については、今後も引き続き検討していきます。

夜間景観

周辺環境の調査・分析



①②: 関内駅は明るい上YOKOHAMA STADIUMの文字を点灯させるなど、夜間の賑わいを創出する照明計画。
③④⑤: 公園の北側は落ち着いた光量のある照明計画とすることで、横浜公園特有の歴史ある雰囲気を持たしている。

抽出される景観特性

関内駅側
公園の顔として夜間の賑わいを創出するような照明計画
公園北側
光量を抑えることで横浜公園の歴史ある夜間景観を阻害しない照明計画

夜間照明の考え方

関内駅側
スタジアムを浮かび上がらせる照明計画とし、夜間の賑わい形成に寄与します
公園北側
全体を明るくせず、人のいる場所に落ち着いた照明を行います(防犯性は確保します)



歩行者動線イメージ(夜間): 公園北側は全館を明るくせず、人のいる場所に対しては、落ち着いた照明計画とし、防犯性を確保した上で、日本大通り側の夜間景観を阻害しない計画とします。



関内駅側からスタジアムを見る: 既存スタジアムを浮かび上がらせる照明計画とすることで、夜の賑わい形成に寄与し、歩く楽しさを感じられる照明計画とする



前景イメージ(夜間)

都市美対策審議会資料 (平成29年3月27日開催)

■現在の歩行者デッキ

プロ野球・アマチュアスポーツ・イベントが開催されない日は
回遊デッキの照明は点灯しておらず、利用者はきわめて少ない
状況となっています。

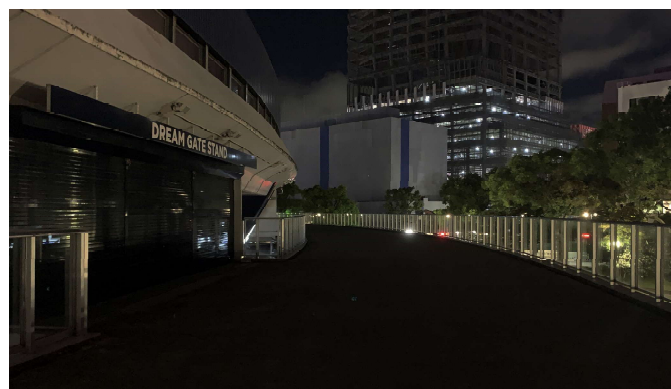
今後、旧市庁舎街区の開業や歩行者デッキでの接続に伴い
回遊デッキ利用者の大幅な増加が予想されます。



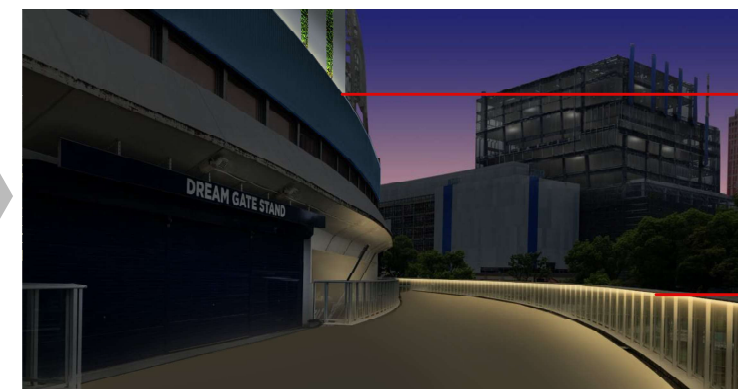
イベント非開催時の遠景



現状のハマスタ交差点夜景



現状のデッキ（18時以降）



デッキ 照明イメージパース

スコアボード部アップー照明
下部から上部へ緑と壁面を明るくし
明るさ感をアップ

デッキ ガラス手摺部照明
デッキのみならず、公園通路を明るくする



至 旧市庁舎街区・JR関内駅

スコアボード部アップー照明

デッキ ガラス手摺部照明

※検討中

至 中華街

イベント非開催時の鳥瞰イメージパース

※中華街側歩行者デッキについては横浜市により検討中であり、図はイメージです。

照明計画（日本大通りからの見え方・手摺照明）

■日本大通りの軸線

日本大通りの軸線上にある横浜スタジアム。

日本大通り周辺にある歴史的建造物のライトアップを尊重する照明計画としています。



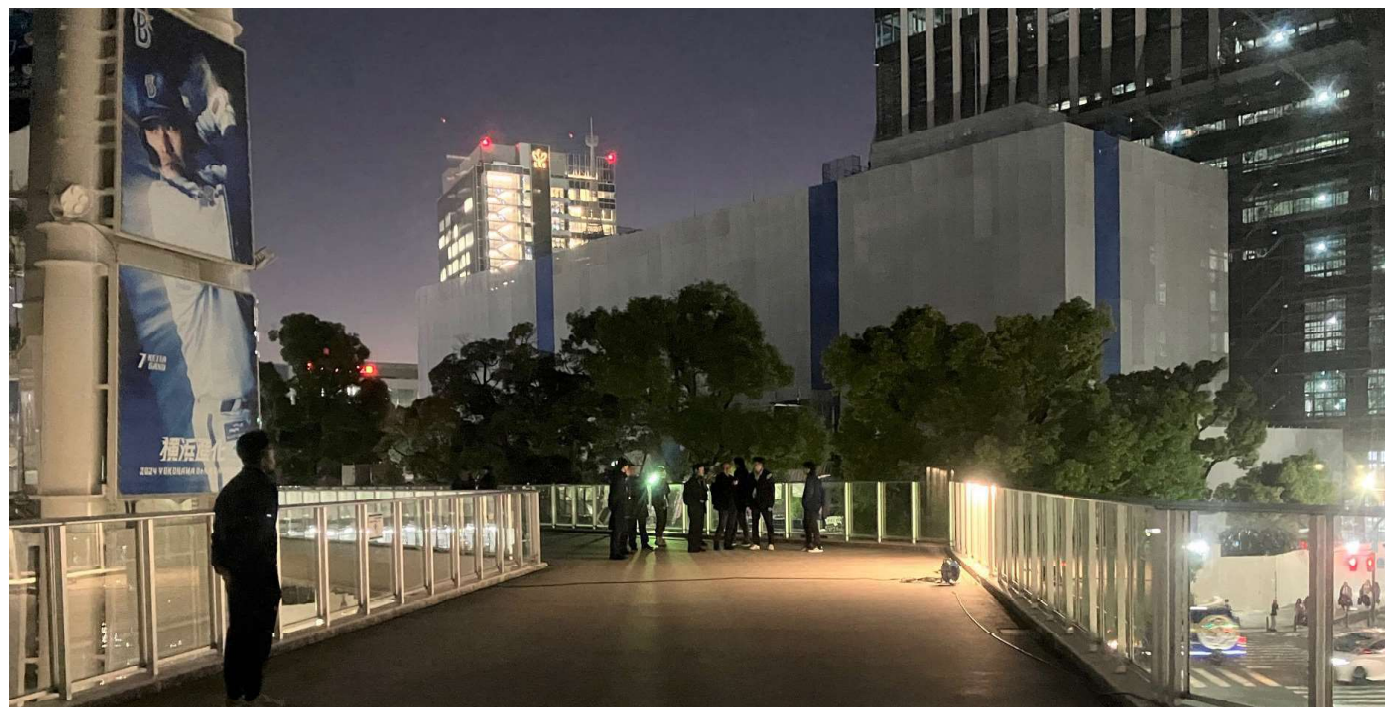
日本大通り遠景



日本大通り中景

■手摺照明の現地確認

既存手摺に照明を追加し、関係者で妥当性の確認を行っています。



デッキレベルからの見え方



地盤レベルからの見え方